

## 社会・地理歴史・公民に関する資料

# 学習指導要領の変遷

昭和  
33～35年  
改訂

## 教育課程の基準としての性格の明確化

(道徳の時間の新設、基礎学力の充実、科学技術教育の向上等) (系統的な学習を重視)

(実施)

小学校:昭和36年度、中学校:昭和37年度、高等学校:昭和38年度(学年進行)

昭和  
43～45年  
改訂

## 教育内容の一層の向上(「教育内容の現代化」)

(時代の進展に対応した教育内容の導入)(算数における集合の導入等)

(実施)

小学校:昭和46年度、中学校:昭和47年度、高等学校:昭和48年度(学年進行)

昭和  
52～53年  
改訂

## ゆとりある充実した学校生活の実現 = 学習負担の適正化

(各教科等の目標・内容を中核的事項に絞る)

(実施)

小学校:昭和55年度、中学校:昭和56年度、高等学校:昭和57年度(学年進行)

平成  
元年  
改訂

## 社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成

(生活科の新設、道徳教育の充実)

(実施)

小学校:平成4年度、中学校:平成5年度、高等学校:平成6年度(学年進行)

平成  
10～11  
年改訂

## 基礎・基本を確実に身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの[生きる力]の育成

(教育内容の厳選、「総合的な学習の時間」の新設)

(実施)

小学校:平成14年度、中学校:平成14年度、高等学校:平成15年度(学年進行)

平成15年  
一部改訂

学習指導要領のねらいの一層の実現(例:学習指導要領に示していない内容を指導できることを明確化、個に応じた指導の例示に小学校の習熟度別指導や小・中学校の補充・発展学習を追加)

平成  
20～21  
年改訂

## 「生きる力」の育成、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成のバランス (授業時数の増、指導内容の充実、小学校外国語活動の導入)

(実施) 小学校:平成23年度、中学校:平成24年度、高等学校:平成25年度(年次進行)

小・中は平成21年度、高は平成22年度から先行実施

# 「学力の三要素」と「生きる力」について

## 現行学習指導要領の理念

- 平成10～11年改訂の学習指導要領の理念は「生きる力」を育むこと
- 「知識基盤社会」の時代において「生きる力」を育むという理念はますます重要
- 教育基本法改正等により教育の理念が明確になるとともに、学校教育法改正により学力の重要な要素が規定

### 学校教育法（昭和22年法律第26号）

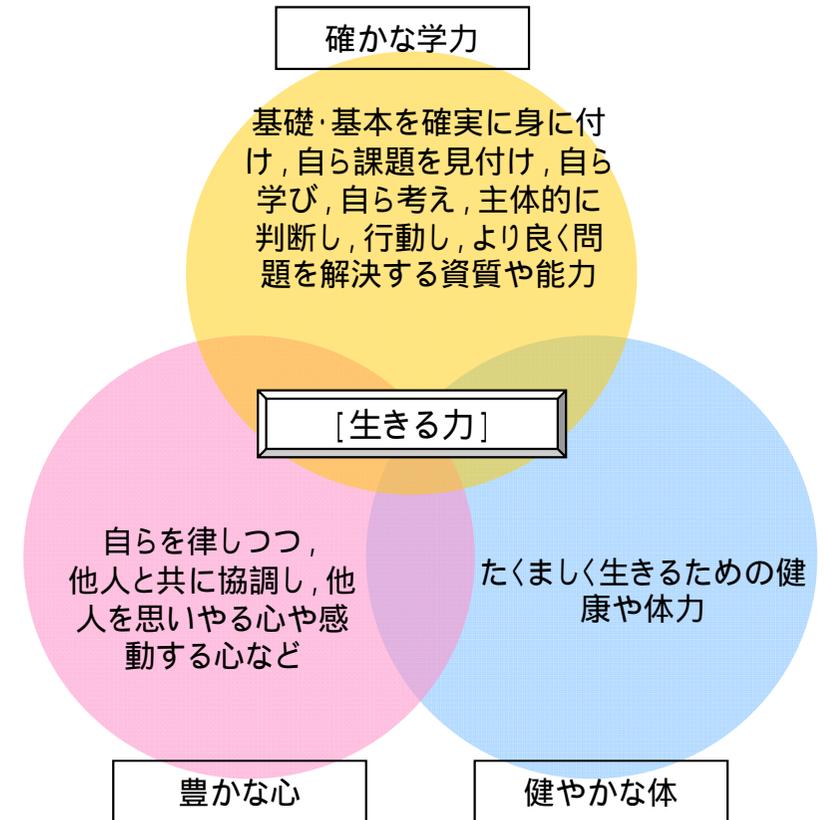
#### 第30条（略）

前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。



現行学習指導要領においては、これまでの理念を継承し、教育基本法改正等を踏まえ、「生きる力」を育成

「ゆとり」か「詰め込み」かではなく、これからの社会において必要となる知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」をより効果的に育成



# 小学校社会科に関する学習指導要領改訂の経緯等について

昭和33年改訂(告示) 目標・内容について「道徳」との関連を考慮、中学校社会科との一貫性を考慮

- ・教科目標に「郷土や国土に対する愛情」「先人の業績や優れた文化遺産を尊重する態度」などの文言を追記
- ・「農業生産」「工業生産」「我が国の地理的環境」(第5学年)、「国や地方の政治の働き」「我が国の歴史」「世界の国々」(第6学年)の内容を整理

昭和43年改訂(告示) 教科目標の明確化、内容の精選と能力の育成の重視

- ・総括目標(公民的資質の基礎の育成)と、理解、態度、能力に関する目標の整理
- ・基礎的事項の精選、児童の発達段階に応じ、十分理解しうる内容を効果的に組織、能力の育成を重視

昭和52年改訂(告示) 目標・内容を中核的事項に精選

- ・授業時数の削減(第4～6学年 140 105)、内容の削減(例:第4学年 5項目 3項目、第5学年 5項目 3項目)
- ・各学年の目標に「効果的な表現」や「資料の効果的な活用」を明示

平成元年改訂(告示) 生活科との関連や国際化、産業構造の変化などの社会の変化を考慮

- ・教科目標に「国際社会に生きる」を追記
- ・地域社会や産業等に関する内容の改善、歴史事象の明確化と人物42名を例示(人物や文化遺産を通じた学習)

平成10年改訂(告示) 基礎的・基本的な内容に厳選し、学び方や調べ方の学習、作業的、体験的な学習や問題解決的な学習など児童の主体的な学習を一層重視

- ・時数の削減(第3学年105 70、第4学年105 85、第5学年105 90、第6学年105 100)
- ・地域の実態や児童生徒の興味・関心等に応じた学習ができるよう、学習対象や事例の選択的取扱いを導入
- ・「～について～して調べて、～を考えるようにする」という現行版の記述形式へ整理

平成20年改訂(告示) 社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視

- ・知識や概念の明確化、問題解決的な学習の一層の充実、社会的な見方や考え方の成長を重視

# 中学校社会科に関する学習指導要領改訂の経緯等について

昭和33年改訂(告示) 地理, 歴史教育を充実改善

- ・第1学年では地理的分野について、第2学年では歴史的分野について、第3学年では政治・経済・社会的分野についてそれぞれ学習させることを原則とする

昭和44年改訂(告示) 政治・経済・社会的分野を公民的分野と改称し、現行の三分野制が確立

- ・三分野の密接な関連のもとに、社会科全体としての学習成果をいっそう高めるため、原則として、第1、第2学年を通じて地理的分野、歴史的分野を並行して学習させ、第3学年において歴史的分野および公民的分野を学習させるようにする

昭和52年改訂(告示) 目標・内容を中核的事項に精選

- ・授業時数の削減(歴史的分野175→140、公民的分野140→105) 地理的分野は140のまま変更なし
- ・第1学年及び第2学年で地理的分野と歴史的分野を並行して履修させ、第3学年で公民的分野を履修

平成元年改訂(告示) 分野相互の関連に配慮しつつ、基礎的・基本的な内容の指導の一層の充実を図るため、その内容を精選

- ・国際化、情報化などの社会の変化に対応して内容の改善、内容の精選を図るとともに、選択履修の幅を拡大したり、適切な課題を設けて行う学習の充実を図るなど中等教育前期としての生徒の発達段階を考慮

平成10年改訂(告示) 基礎的・基本的な内容に厳選し、学び方や調べ方の学習、作業的、体験的な学習や問題解決的な学習など生徒の主体的な学習を一層重視

- ・地理的分野の日本と世界の結び付き、歴史的分野の現代の日本と世界、公民的分野の国際社会に関する内容については相互に関連が深いことから、これらに関連付け、公民的分野の最初と最後に、高度経済成長期以降の世界と日本との結び付きや動向を通して現代日本の特色や人類の課題などについて考察する項目を設定

平成20年改訂(告示) 社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視

- ・基礎的・基本的な知識、概念や技能を習得し、社会的事象の意味、意義を解釈する学習や、事象の特色や事象間の関連を説明する学習などを通して、社会的な見方や考え方を育成

# 社会科、地理歴史科、公民科に関する学習指導要領改訂の経緯等について

## 社会科、地理歴史科、公民科の改善の基本方針

小学校、中学校及び高等学校を通じて、社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する。

各学校段階の特質に応じて、習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、コンピュータ等も活用しながら、地図や統計等の資料から必要な情報を読み取ること、社会的事象の意味や意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することを一層重視する。

我が国の国土や歴史に対する愛情を育み、国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することを重視する。

### < 小学校社会科の改善の具体的事項 >

地域社会や我が国の国土に対する理解を深め、国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けることを重視。

歴史や文化を大切にし、日本人としての自覚をもつとともに、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことを重視。

体験的な学習や問題解決的な学習を一層充実させることにより、知識・技能の習得とともに、それらを活用して観察や調査等したことを比較・関連付け・総合しながら再構成する学習やお互いの考えを深める学習を充実。

### < 中学校社会科の改善の具体的事項 >

社会的な見方や考え方を養うことや伝統・文化等に関する学習を重視。

(地理的分野) 世界の地理的認識や我が国の国土に対する認識を一層深めるために内容を改善。また、地図の読図等の技能を身に付けることや、諸課題を解決し地域の発展に貢献しようとする態度を養うことを重視。

(歴史的分野) 基本的な内容の定着を図り、課題追究的な学習や近現代の学習を重視。また、伝統や文化を学習させ、我が国の歴史の背景にある世界の歴史の扱いを充実させるとともに、自分の言葉で表現する学習を充実。

(公民的分野) 現代社会の理解を深め、よりよい社会の形成に参画する資質や能力を育成するため、政治や経済についての見方や考え方の基礎を養う学習や社会保障や財政の問題等を考えさせる学習を重視。その際、自分の考えを論述させたり、お互いの理解を深めさせたりすることを重視。

# 社会科、地理歴史科、公民科に関する学習指導要領改訂の経緯等について

## < 高等学校地理歴史科の改善の具体的事項 >

各科目の特質と相互の関連性を考慮しながら、社会的事象についての見方や考え方を成長させるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を一層深めることを重視。特に、歴史的過程と地域的特色についての理解と認識を一層深めさせるよう科目間の関連を重視し、各科目の知識や技能等を習得、定着させ、活用できるよう改善。

(世界史A) 諸文明の特質と現代世界の形成過程を理解させ、現代世界への認識を深め、歴史的思考力を育成。

(世界史B) 世界の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性・複合性に関する認識を深めさせるとともに、追究する学習を一層重視して、世界史の学び方や歴史的思考力を育成。

(日本史A) 課題追求の学習を重視し、我が国の近現代の歴史や現代社会の成り立ちを理解させ、歴史的思考力を育成。

(日本史B) 我が国の歴史の展開を総合的に理解させ、伝統や文化の特色に関する認識を深め、歴史的思考力を育成。

(地理A) 作業的、体験的学習を充実するとともに、現代世界の諸課題等について地域性や歴史的背景を踏まえて考察させ、地理的な見方や考え方を育成。

(地理B) 地理的事象の分布やその要因等を体系的に考察させ、世界諸地域の地域的特色を多面的・多角的に考察させ、地理的な見方や考え方を育成。

## < 高等学校公民科の改善の具体的事項 >

各科目の特質と相互の関連性を考慮しながら、社会的事象についての見方や考え方を成長させるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を一層深めることを重視。特に、よりよい社会の形成に自ら参画していく資質や能力を育成するため、各科目の知識や倫理的な諸価値等について理解させるとともに、社会的事象に対する客観的で公正な見方や考え方と人間としての在り方生き方についての自覚を一層深めることを重視。

(現代社会) 現代社会の諸課題を取り上げて、人間としての在り方生き方についての学習や、自分の考えをまとめたり、説明したりするなど課題追究的な学習を重視。

(倫理) 人間としての在り方生き方への関心を高めることや課題探究的な学習・討論を重視し、社会の一員としての自己の生き方を探求。

(政治・経済) 習得した知識・理論等を活用し、課題を追究させる学習を充実させ、政治や経済についての見方や考え方を育成。また、グローバル化や規制緩和の進展等に対応し、法や金融等に関する内容を充実。

# 小学校社会科 問題解決的な学習の授業イメージ

社会的事象と資料  
などを通して出会う

事実を基に、子供の疑問など  
を生かして学習問題を設定する

調べて分かったことを基に  
学習問題の結論をまとめる

社会の仕組みや  
その意味が分かる

なくそう こわい火事



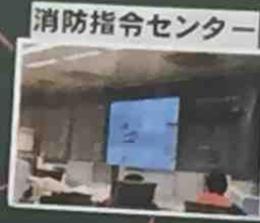
なぜ119番に連絡すると 消防署以外  
の所にも連絡がいくのだろうか?



水道局-火を消滅に  
水が火場から  
けいさつ署-交通整理  
人を中へ入れよ  
火事原因を調べるため



仕事内容はそれぞれ  
ちがうよ



人の命を守る  
火事を消すよ

119番通(う)う  
自分の名前 住所  
火事の場所(住所)目印  
火事の様子  
もしかしたら中に人がいるかも

火を消す  
中の人を助ける



ポンプから  
水が火場へ  
送られる  
ためにさせい線  
をしている

水がたりなく  
なったら火が消  
せないから  
もえつからせぬため



地いさの人を  
安心させる

知っていることなど  
事実を集める

学習問題の追究・解決のため  
に調べたり話し合ったりする

学習したことを振り返る

# 様々な事象の地図を重ね合わせて、 関係性を読み取り話し合う事例

単元：「身近な地域の調査」

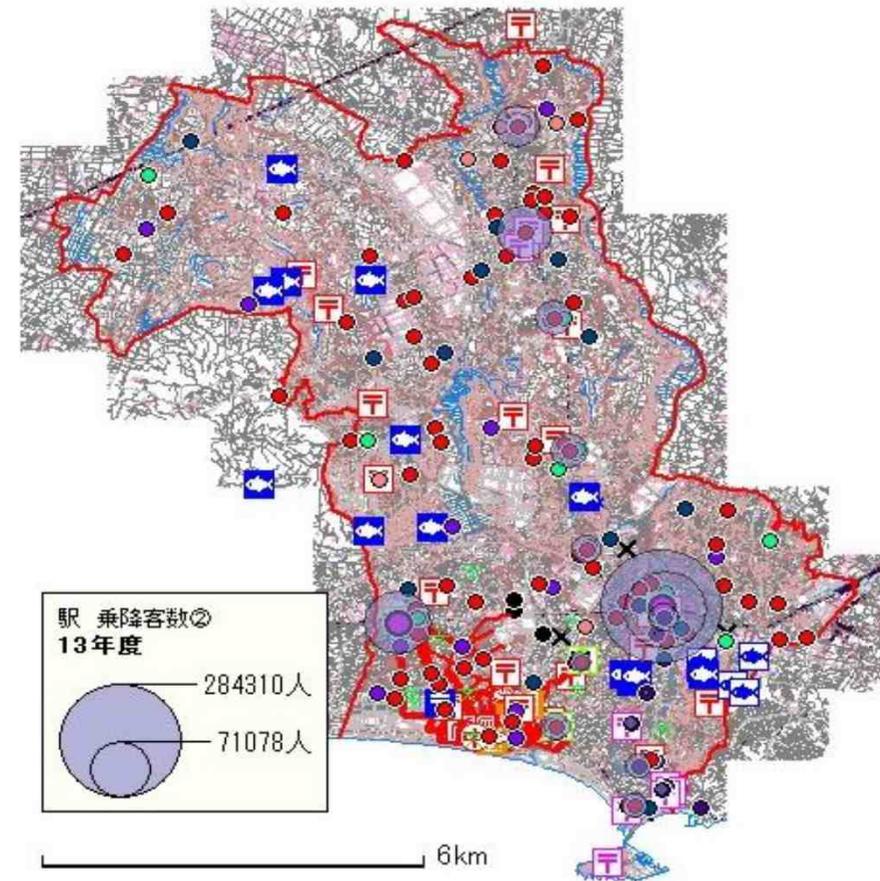
～コンビニエンス・ストアをどこにつくればよいだらう～

地域のコンビニエンス・ストアの立地条件の追究を通して、なぜ、それがそこにあるのかという立地のしくみに気付かせ、様々な施設には、それぞれ特有の立地条件があることを考えさせる。

複数の資料それぞれに含まれる情報を結び付け、新たな情報を引き出す力を育成

(文部科学省「言語活動の充実に関する指導事例集  
【中学校版】」社会科事例1による。)

図 コンビニエンス・ストアとスーパーマーケット、  
駅とその乗降客数、ポスト等の複数の分布図を  
生徒がコンピュータ上で重ね合わせて作成した地図



# 時代の特色をとらえるための問いの工夫

北海道教育大学附属函館中学校

(H21・22国立教育政策研究所研究指定校)

## 【研究第1年次の設問】

「政治」「外交」「産業」「文化」「民衆」それぞれの調査担当班からの発表を踏まえて、中世の特色をまとめて表現しなさい。

## 【研究第2年次の設問】

明治時代になってから日本では何が変わりましたか？

明治政府はどのような国づくりを目指したのですか？

明治政府はなぜそのような国づくりを目指したのですか？

明治時代とはどのような時代だったと考えられますか？

(文部科学省刊『中等教育資料』平成23年6月号28～33頁参照)

# (事例9) 単元名: 世界平和の実現を目指す 国際社会と日本

(知識を活用して特色を説明し、さらに自分の考えを論述する事例)

## 議論用プリント「国際連合の改善策」

A. 自分の考え —議論前に記入—	B. 賛成できる他者の考え —議論後に記入—	C. 賛成できない他者の考え —議論後に記入—
<p>①国際連合をどのように改善すべきか? (記入例) 安全保障理事会の常任理事国の拒否権を廃止すべき。</p> <p>②これまでのどのような状況を問題として、上の改善策を考えたのか? (記入例) 拒否権の行使により安保理があまり機能せず、世界の安全保障体制が不十分であった。</p>	<p>①どのように改善すべきと主張したか? (記入例) 常備軍として国連軍を設置すべき。</p> <p>②これまでのどのような状況を問題として、上の改善策を主張したのか? (記入例) 軍事制裁を行う十分な実力が無かったため、国際連合が各地の紛争を治めることがあまりできなかった。</p>	<p>①どのように改善すべきと主張したか? (記入例) 安全保障理事会の拒否権をもつ常任理事国を、地域のバランスを考慮しながらもっと増やすべき。</p> <p>②これまでのどのような状況を問題として、上の改善策を主張したのか? (記入例) 安保理では常任理事国の多くが欧米の国であるため、欧米諸国に比べてアジアやアフリカなどの国々の意見は反映されにくかった。</p>
<p>☆自分やBのような主張をする人は、何を優先して考えているのか? (「主権」・「協力」のどちらかのことばを用いて述べること)</p> <p>(記入例) 平和のための国際的な協力を、より積極的に進められるようにすることを優先している。</p>		<p>☆Cのような主張をする人は、何を優先して考えているのか? (「主権」・「協力」のどちらかのことばを用いて述べること)</p> <p>(記入例) 国家の主権の尊重を、より優先している。</p>

# 小・中学校社会科教育に関する現状について

## 小・中学校社会科教育に関する現状と課題

[ ]内は参考にしたデータ等

### ①情報を基に考察する力や表現する力

- ・資料から読み取った情報を基に、比較・関連付けたり、多面的・多角的に考えたりすることに課題  
【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査(国立教育政策研究所)】
- ・社会的事象について、自分の考えを根拠を上げて説明することに課題  
【平成18年度「特定の課題に関する調査(社会)」(国立教育政策研究所)】

### 社会的事象への関心、社会参加への意欲

- ・学んだことを基に自分たちがすべきことを考えたことがあると肯定的に答えた子供が75%を超える一方で、社会的事象への関心事項として「我が国の政治」への関心が他の項目(伝統文化、農業、国際関係等の7項目)に比べて最も低い。  
【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・自分の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれないと考える中・高校生は諸外国に比べて低いが、我が国の中学生と高校生とを比べた場合、中学生の方が高校生に比べて肯定的な回答が高い。  
【平成21年(財)日本青少年研究所「中学生・高校生の生活と意識」】

### 基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得

- ・47都道府県の名称と位置、明治期以降の歴史上の人物と業績に関する知識の習得に課題  
【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・地図や地球儀上で、位置関係を捉える技能、地図から情報を読み取る技能に課題  
【平成15年度中学校教育課程実施状況調査】【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・時代区分や年代の表し方、昭和初期から第二次世界大戦後に関する理解に課題  
【平成15年度中学校教育課程実施状況調査】
- ・議院内閣制や需要と供給など、政治や経済に関する基本的な概念の理解に課題  
【平成15年度中学校教育課程実施状況調査】【平成18年度「特定の課題に関する調査(社会)」】

## 生徒及び教師等の課題

[ ]内は参考にしたデータ等

### ①科目履修の状況

【平成27年度使用教科書採択状況(文科省調べ)】 世界史A・B 1,369,457冊, 日本史A・B 976,189冊, 地理A・B 691,218冊  
〔参考値;高等学校生徒数 3,334,019人(特別支援学校除く)〕

### 近現代史の学習の定着状況は,他の指導内容に比べて低い傾向

【平成17年度教育課程実施状況調査(国立教育政策研究所)】  
(例) 世界史B「(5)地球世界の形成」では,設定通過率を上回る 31.3%・同程度 31.3%・下回る 37.5%  
(例) 日本史B「(6)両世界大戦期の日本と世界」では,設定通過率を上回る0.0%・同程度 12.5%・下回る 87.5%

### 学習活動の工夫に課題

【平成17年度教育課程実施状況調査】～教師質問紙における次の質問に対する回答～  
「課題解決的な学習を取り入れた授業を行っていますか。」  
「肯定的回答」合計 (世界史B :12.8%、日本史B 14.0%), 「否定的回答」合計(世界史B :86.9%、日本史B :80.6%)  
「調べたことを発表させる活動を取り入れた授業を行っていますか。」  
「肯定的回答」合計 (世界史B :4.9%、日本史B 7.7%), 「否定的回答」合計(世界史B :95.1%、日本史B :87.0%)

# 地理教育に関する現状について

## 生徒等の課題

[ ]内は参考にしたデータ等

### ①最低限の地理的知識をもたずに高校を卒業する生徒の増加

【2014年度使用教科書採択状況】 世界史A・B 1,382,886冊, 日本史A・B 983,408冊, 地理A・B 691,746冊  
〔参考値; 高等学校生徒数 3,532,876人(特別支援学校除く)〕  
【日本地理学会による大学生地理認識調査(2014)】 ~ 各国名について地図中からその位置を適切に選択した者の割合 ~  
フィンランド52.4%(履修者66.7%, 格差14.3%), スイス46.1%(格差15.4%), ベトナム43.5%(格差15.4%)

### 地球環境の危機や防災に関する教育の必要性

地理的思考力や地理情報システム(GIS)など地図・地理空間情報を利用できるスキルの育成が重要

〔以上, 日本学術会議(2011)〕

### 海外や異文化一般への関心の後退〔同(2007)〕

## 教師等の課題

### 学習活動の工夫に課題〔同(2007)〕

【平成17年度教育課程実施状況調査(国立教育政策研究所)】 ~ 教師質問紙における次の質問に対する回答 ~  
「観察や調査・見学, 体験を積極的に取り入れた授業を行っていますか。」  
行っている方だ(1.5%), どちらかといえば行っている方だ(5.0%), 「否定的回答」合計(87.8%)  
「博物館や郷土資料館等の地域にある施設を活用した授業を行っていますか。」  
行っている方だ(0.0%), どちらかといえば行っている方だ(0.6%), 「否定的回答」合計(94.2%)

# 公民教育に関する現状について

## 高校生・若者の意識や実態

[ ]内は参考にしたデータ等

### ①積極的に社会参加する意欲が国際的に見て低い

他人に迷惑をかけてはならないという意識が高い反面、自分の力で世の中を変えられると考えている若者が、諸外国に比べて少ない。

【内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」(H25)、(財)日本青少年研究所「中学生・高校生の生活と意識 - 日本・アメリカ・中国・韓国の比較 - 」(H21)】  
衆議院選挙の投票率では、20代の投票率は60代の半分以下。

### 理論や概念の理解、情報活用能力が十分身につけていない

【平成17年度教育課程実施状況調査(倫理、政治・経済)】

・政治や経済、現代社会の諸課題について、基礎的な理論や概念の理解に課題がある。

・先哲の基本的な考え方を手掛かりとして自分自身の考え方や自分の体験と関連付けて自己の生きる課題として考えることに課題がある。

・有用な情報を主体的に選択して活用したり、課題を考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現したりする力が十分に身に付いていない。

### 政治や経済の仕組み、働く意義等を学ぶことへの関心は高い

・政治・経済についての学習が大事だと思っている生徒の割合は国語や外国語に次いで高い。

・若年層の就労者の多くは、働く上での権利・義務や働くことの意義を学校教育でもっと学ぶことが大切だと考えている。

【日本労働組合総連合会「学校教育における『労働教育』に関する調査(H26)】

## 公民科教育の現状

・「課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている」「調べたことを発表させる活動を取り入れた授業を行っている」と考えている教員は少ない。【平成17年度教育課程実施状況調査(倫理、政治・経済)教員質問紙(国立教育政策研究所)】

# 社会科、地理歴史科、公民科の目標

	教科目標	学年目標・分野目標
小学校	<p>社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的な資質の基礎を養う。</p>	<p>【第3学年及び第4学年】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域の産業や消費生活の様子，人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし，地域社会の一員としての自覚をもつようにする。</li> <li>(2) 地域の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし，地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。</li> </ol> <p>【第5学年】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 我が国の国土の様子，国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし，環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め，国土に対する愛情を育てるようにする。</li> <li>(2) 我が国の産業の様子，産業と国民生活との関連について理解できるようにし，我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。</li> <li>(3) 社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や地球儀，統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味について考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</li> </ol> <p>【第6学年】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに，我が国の歴史や伝統を大切にし，国を愛する心情を育てるようにする。</li> <li>(2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし，平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。</li> <li>(3) 社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や地球儀，年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味をより広い視野から考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</li> </ol>

# 社会科、地理歴史科、公民科の目標

## 教科目標

## 学年目標・分野目標

中学校

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

### 【地理的分野】

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
- (3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

### 【歴史的分野】

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

### 【公民的分野】

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- (3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

# 社会科、地理歴史科、公民科の目標

## 教科目標

## 科目目標

### 高等学校 地理歴史科

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

#### 【世界史A】

近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

#### 【世界史B】

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

#### 【日本史A】

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

#### 【日本史B】

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

#### 【地理A】

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

#### 【地理B】

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

# 社会科、地理歴史科、公民科の目標

	教科目標	科目目標
高等学校 公民科	<p>広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。</p>	<p>【現代社会】 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p> <p>【倫理】 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p> <p>【政治・経済】 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>